



青南だより

令和8年11月号
港区立青南幼稚園
園長 石川 典子

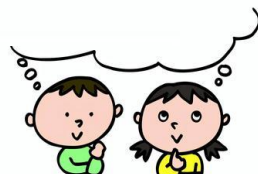
運動会をお楽しみに

もうすぐ運動会です。当日は、保護者や地域の方に温かく見守られながら、伸び伸びと体を動かしたり、思い切り走ったり、リズムを感じながら踊ったり、競い合ったりと、子どもたちにとっても、子どもたちの成長を見ていただく保護者・地域の皆様にとっても大切な一日になることと思います。幼児期に意欲的に体を動かして遊ぶ経験は、自分の力で行動する充実感や生涯にわたって心身共に健康に生きることにつながります。園では環境や運動遊びを工夫し、幼児が主体的に体を動かす体験を積み重ね、身体諸機能が調和的に発達するようにしていきます。

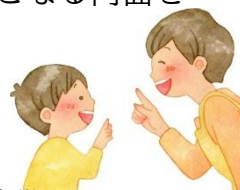
三つ子の魂百まで

以前、子育てに関して次のような話を聞きました。

- ・ 幼児期に大切なことは、体を動かすこと、遊びや生活の中で頭を使うこと、親子で会話を楽しむこと。
- ・ 子どもの苦手なところを気にして無理にさせようとしたり、注意が多くなったりすると、子どもは意欲や自信を無くす。子どもが好きなこと得意なことをほめて伸ばすと自信をもち、芋づる式に苦手なことも少しずつできるようになっていく。
- ・ 幼児期は保護者がたつぷりと子どもに関わる時期。かまってほしい時期にかまってもらえなかった子どもは、後々にいろいろな問題が出てくる。
- ・ ケンカや小さいけがをすることは、成長にとって必要なこと。
- ・ 知識を詰め込んでもやがて追い抜かれてしまう。大事なことは「主体性」を育むこと。すると、小学校以降に主体的に自分から学習し、学ぶことを楽しみながらぐんぐん成長していく



生涯の中で幼児期はごく短い期間です。この間の過ごし方が、お子さんの人格形成やその後の人生に大きく影響します。『三つ子の魂百まで』です。子どもがみずみずしい感性の下、多様に感じたり考えたりしていること、行動や言葉を肯定的に共感的に受け止め、一緒に楽しんだり、面白がったり、行動したりして、子どもたちの生き抜く力となる内面を育みましょう。お子さんを信じ、焦らず、お子さんのペースを大事にして、穏やかな気持ちで温かく見守ることが大切です。



令和8年度 港区立青南幼稚園経営計画 — 主体性を発揮して みんな笑顔の幼稚園 —

子どもの自己肯定感を主体的に育む保護者

- ① 子どもの思いや成長に気付き、子育てに喜びを感じる保護者
- ② 生涯発達の鍵となるアタッチメントを築き、安心・安全の基地となって子どもを支える保護者
(港区立青南幼稚園 経営方針 幼稚園経営の方針より)